



小松市立学校PTA連合会
会長 田村 義彦

“よりよい未来へ！協力しあい、助けあう”

平素より、小松市立学校PTA連合会（以下市P連）に対しましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。会員の皆様と活動してまいりました令和5年度も残り僅かとなりました。

本年度は新型コロナウイルス感染症が五類感染症へと移行となったことを受け、徐々に市P連や各学校のPTA活動も従来の形に戻ることが出来ました。活動自体、コロナ禍前よりも多く行うことが出来たものもありましたし、今年から初の試みとなる活動を開始するものもありました。

事業内容として、例年秋の研究大会の中で開催しておりました市P連主催の講演会を、本年度は7月に小松市民センターにて単独で開催致しました。今回は小松市少年育成センターの研修も兼ね、金沢法務少年支援センター長の佐藤健司氏に講師を依頼し『子どもの支援のあり方を考える～非行・問題行動・いじめ』をテーマに大人が子どもとどう関わって行くべきかお話しして頂きました。また、10月に開催されました小松市市民防災訓練にて、市P連は新規事業として初参加させて頂き、非常持ち出し袋のアドバイスや防災書籍の紹介、子ども向けのクイズやノベルティグッズの配布などを行い、防災という面で新しく啓蒙活動を行うことが出来ました。そして12月には小松市教育委員会との会談を行い、保護者の方々からの様々な意見や質問を市P連として直接伝え、また教育委員会の方からの要望をお聞きし、双方に有意義な意見交換を行うことが出来ました。

本年度の事業を全て滞りなく終えられたのは、ひとえに皆様のご協力があったからこそだと考えております。重ねて御礼申し上げます。来年度もまた、各学校新PTA会長の方々と共に、本年度の活動での反省点を活かし、内容を時代に即した形へ発展的に見直しを図りながら活動を展開していきたいと考えております。

来年度は小松市の全小学生約6000名でのこれまでにない大規模な事業の開催も予定しております。それぞれの夢を見つめ直すきっかけにして頂けるよう、全力で取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、各単位PTA、市P連、各小中学校、小松市教育委員会、地域の皆様と共に次世代を担う子どもたちのために連携してまいりましょう。そして、本会の活動に対しご支援、ご協力頂いた皆様から心から感謝を申し上げるとともに、今後とも本会に対し更なるご支援とご理解を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



小松市立学校PTA連合会
顧問 清水 篤志

“PTAに関わって”

PTAに関わるようになったのは、平成28年に小学校PTAの役員に入ったのがきっかけでした。その翌年には会長職をお預かりし、60周年の事業をさせて頂き、同年には市PTAの総務委員長をさせて頂きました。その後、令和2年は中学校のPTA会長、そして令和3年から2年間、小松市立学校PTA連合会の会長をさせて頂き、多くの学びとかけがえのない仲間ができたことが私の宝物と感じております。

特に印象深いのは市PTAに初めて参加した際に尊敬する先輩から教わったことです。PTAとは究極のボランティア活動である。「子どもたちの為に、何が出来るかを考え、出来る時に出来ることをやろう」が本来の姿であり、絶対無理してでも、やることは無い。「やらされている感」に決してなつてはいけません。しかし、それぞれの活動が、子どもたちのためになっているか、常に考えなくてはならない！と教わったことを常に自分のなかで思いPTA活動してまいりました。

中学校のPTA会長と市PTA会長の際にはコロナ禍でほとんどの事業が中止や縮小となり、厳しい状況ではありましたが、その時に先輩から教わったことを思い出し、当時マスクが不足していたので子どもたちのために、PTAでマスクを購入し配布しました、今までの事業が子どもたちのためになっているのかを皆で話し合い見直しすることができ、新たな1歩を踏み出せたと感じております。

これからも、小松市立学校PTA連合会は保護者の皆様、教職員の皆様、そして地域の方々とともに次世代を担う子どもたちの健やかな成長のために活動してまいりますので、更なるご理解とご協力を何卒宜しくお願い致します。

◆第71回日本PTA全国研究大会 <広島大会>

令和5年8月25日、26日に広島県で行われた、小松市PTA連合会から会長、副会長、顧問、委員長、理事総勢16名で参加してきました。日本全国から7000名の参加がありました。今回のテーマは「変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！～見つけ考えかわろうやぶち楽しいで!!～広島から全国へ」

初日の分科会は、広島県内7か所の会場に分けて、各自学びたい分野のところへ行くというもので、今回は第3分科会、特別第1分科会に分かれて参加しました。どちらの分科会も「基調講演」・「実践発表」・「パネルディスカッション」の3段階に分かれて進行しました。

第3分科会 研究課題は、学校教育と地域の連携をどう進めていくか～子供の成長を地域と共に～でした。

基調講演では、広島修道大学 教授 山川様

実践発表では、広島県府中市コミュニティースクール 連絡協議会 会長 立石様

少子高齢化の現代を迎えるにあたって、備えておかなければいけないことと、地域と学校の取り組みなどについて改めて考えるきっかけになりました。授業の中に地元企業と地域の人材がそれぞれの経験やスキルを活かして参加してもらっている取り組み等がありました。新型コロナウイルスによる制限の中、少なからず学校と地域を結ぶ行事・イベントも中止になったことも多数あったと思うとコミュニティの存在を考え直す良いきっかけになりました。今一度、学校・PTA・地域を各自考えてみてはいかがでしょうか？また、我々はそのような場を提供できるような組織でありたいと思います。

特別第1分科会 研究課題は、世界で活躍する人材を育むために～これからの国際化に対応できる力とは～

基調講演では、JICA中国センター 所長 村岡様

実践発表では、AIC World College 大阪初等部 校長 熊谷様

多くの外国の方々が訪日され多文化共生の時代となっている現代、発展途上国のインフラ整備に向けた技術支援、研修生の受け入れ、海外協力隊の派遣、小中高大学生への教育等、様々なJICAとしての活動を紹介、個人的

には以前から国際協力出前講座には興味があり、海外協力隊経験者や発展途上国からの研修員の方による体験談の講座やワークショップ等を小学生向けに実施できたら新たな視点のきっかけになるのではと思っています。実践発表では実際に行われている授業と同様な参加型ワークショップが行われました。スクリーンの間にそれぞれの考えをもって近くの方と意見交換をするというものでしたお互いの意見を尊重しつつ自分の意見を発表していく、答えが1つでないから面白い。我々、保護者として子ども達にもっと良質な問いをし、意見交換をすることを実践してみようと思います。みなさんも何気ない事でもよいのでは是非ともテーマを作ってお子さんと意見交換してみてください。

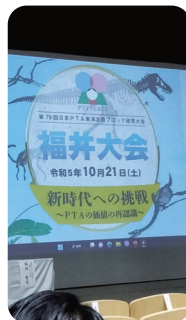
「チノメザメ～21世紀を学ぶ君へ～」というブログにてIB教育を中心に情報発信されていますのでチェックしてみてください。

2日目の全体会は、広島グリーンアリーナで行われました。今年5月にG7広島サミットが行われた際には国際メディアセンターとして世界各国の報道関係者が集まっていた場所です。7000人が一堂に会するものでした。アトラクションや行事、記念講演など圧巻の内容で全大会に参加してきましたちなみに来年は、川崎大会です。そして、再来年はいよいよこの全国大会が石川で開催されます。来年川崎大会で石川のアピールを壇上で行ってきます！



◆第79回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 <福井大会>

令和5年10月21日(土)、小松市立学校PTA連合会は会長、顧問はじめ役員7名で福井県生活学習館にて行なわれました分科会と、全体会に参加いたしました。



分科会では、加賀市立山代小学校PTA・福井市大東中学校PTAの研究発表を拝聴し、それぞれの学校の取り組みを知ることができました。

大会テーマは、『新時代への挑戦～PTAの価値の再確認～』とされ記念講演では『これからの教育、これからの協働』と題して東北福祉大学教授の長田 徹氏の講話がありました。

このように、PTA連合会は、他市、他県の取り組みを直に聞き、自分の地域で生かせる情報を共有していくことも、大きな役割であると感じました。

これからのPTAのあり方を問う、良い機会となりましたし、2年後に開催されます石川県大会では、多くの会員にとって有意義なものにしなければと思う次第です。

わたしたちにもできるSDGs運動 小松市民大会



開催日 / 令和5年11月5日(日) 場所 / 小松市民センター

未来の宝育成委員会 委員長 石島 英彰

2019年末に端を発した新型コロナウイルス感染症は、本年に至るまで進化をしながら感染者を出し続けてきました。本年の5月より季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げられました。新しい生活様式にも慣れてきつつあった中ではありますが、ここで更に変化の大きな生活スタイルになった年であり、子どもたちにとって多くの成長の機会を取り戻せた年度と感じています。

昨年度から、すべての人々にとってより良い未来のために世界的に推進されている。「持続可能な開発目標」SDGsについて学びながら活動を進めてきました。

本年度は「親子で考え行動しよう わたしたちにもできるSDGs運動」をテーマとし、その一環として、夏休み期間中に子どもたちだけでなく、ご家庭・親子でSDGsについて考えていただきたいという思いをのせて、応募を募らせていただきました。

作品応募に応募総数3,250点と3,017人の子どもたちに参加していただきました。(わたしのSDGsレシピ 602点、

わが家のSDGs標語 2,383点、SDGsを考えるポスター・絵画 118点、わたしたちにもできるSDGs作文 147点)

「親子で考え行動しよう わたしたちにもできるSDGs運動 小松市民大会」において特に優れていた作品17点表彰させていただきました。表彰だけでなく、「SDGsにおける金沢工業大学の紹介と家族でSDGsに取り組む意義」をテーマとして、金沢工業大学 島田氏に協力いただき、発表をしていただきました。また、SDGsを楽しみながら学べる、SDGsの「17の目標」に沿った「体験ブース・ワークショップ」を金沢工業大学様、株式会社LODU様にご協力いただいて、親子参加型のイベントを開催することができました。

これらの活動が子どもたちの健全育成へと繋がり、各ご家庭、地域での活動の一助となれば幸いに存じます。

最後になりますが、わたしたちにもできるSDGs運動にご支援、ご協力をいただきました、多くの皆様に心より感謝を申し上げます。

〈わたしたちにもできるSDGs運動〉入賞者のみなさん

◆『わが家のSDGs標語』部門

安宅中学校	2年	□出	結衣さん
芦城中学校	2年	浅田	優衣さん
芦城小学校	5年	西	星弥さん
矢田野小学校	4年	堀田	瑞希さん
安宅小学校	3年	與四田	空勝さん
串 小学校	1年	荒木	佑さん

◆『SDGsを考えるポスター・絵画』部門

芦城中学校	1年	山本	詩織さん
苗代小学校	6年	大田	姫楓さん
安宅小学校	5年	田中	心彩さん
稚松小学校	4年	鈴	葵羽さん
今江小学校	3年	井上	佳星さん
東陵小学校	1年	江畑	風人さん

◆『わたしのSDGsレシピ』部門

芦城中学校	1年	半田	雅楽さん
第一小学校	5年	山下	紬葵さん
日末小学校	5年	松山	明希さん
稚松小学校	3年	國廣	光葉さん
今江小学校	1年	酒田	暁斗さん

◆『わたしたちにもできるSDGs作文』部門

松陽中学校	2年	辻	しおりさん
国府小学校	5年	浅田	果希さん
第一小学校	3年	大垣	レイナさん



石川県PTA地区別研究指定発表会 第66回小松市PTA研究大会

開催日：令和5年11月5日（日） 場所：小松市民センター

研究大会に先立ち、PTA活動に献身的に取り組まれてこられた功労者の方々をお招きし、小松市教育委員会表彰状授与式が行われました。

休憩をはさみ、研究大会が始まりました。中海中学校

育友会・安宅小学校PTA・第一小学校PTA、どの発表も素晴らしい内容になっており、本当に皆様に聞いていただきたいものでありました。研究大会の発表は大変なご苦労だったと思います。お疲れさまでした。

◆小松市教育委員会表彰状



清水 篤志 様・宮崎 忍 様

◆小松市立学校PTA連合会会長感謝状



清水 篤志 様・西野たえ子 様・片山千鶴子 様・杉本 雅規 様
粟津小学校校区わがまち防犯隊（粟津小学校）様

受賞された皆さん おめでとうございます！



『わが家のSDGs標語』部門 入賞者



『わたしのSDGsレシピ』部門 入賞者



『わたしたちにもできるSDGs作文』部門 入賞者



『SDGsを考えるポスター・絵画』部門 入賞者



中海中学校

『未来を拓き、生き生きと輝く子どもたちのために』SDGsの視点をいかして

“研究大会に関して”

中海中学校育友会 会長 村本 晋

中海中学校育友会は「未来を拓き、生き生きと輝く子どもたちのために」～SDGsの視点を生かして～をテーマに研究を進めました。

本年度の研究大会の指針は「SDGsに関する研究」でしたので、未来ある子どもたちを環境育成から支援する育友会の活動がどれだけSDGsに携わっているか調査・研究を行うという内容からテーマを選定致しました。研究を進めるにあたり、まず、育友会が昨年度行った支援活動の中から5項目を選定し、当時の育友会役員の方々や先生に成果、課題、感想を頂きまとめました。また、生徒の意見を調査するため項目ごとに昨年度の「学年だより」を用意して頂き、そこに記載されている生徒の感想文を調査し、成果、課題、感想から育友会の支援活動とSDGsの関りを調べまとめると、選定した5項目すべてがSDGsに携わっている結果となりました。これを機に、身近なことからでもSDGsに携われるということを子どもたちにも感じて頂ければ良いと思います。

また、子どもたちの感想文から育友会の支援活動が子どもたちの育成に大変良い影響をもたらしていることが実感できました。ここ数年は新型コロナウイルスの影響で育友会の活動はあまりできませんでしたが、昨年度は多くの活動が再開することができ、さらに本年度は昨年度の課題も考慮し、活動項目や内容等コロナ禍前の状態に近づけることができました。これからも保護者、学校、育友会で協力をし合い、未来を拓き、生き生きと輝く子どもたちのために支援活動を行っていきます。

最後になりますが、この研究発表が無事に終了できたのは、資料を用意して頂いた学校関係者の皆様、前年度の育友会の役員の方々、最終的な補正や発表を協力頂いた本年度の育友会役員の方々のおかげです、心からお礼申し上げます。また、研究大会を開催・準備して頂いた小松市立学校PTA連合会の皆様にも大変感謝しています。とても良い経験をさせて頂き有難う御座いました。

第一小学校

『デジタルネイティブ世代のスマホ所持と向きあう。～スマホの活用と安全な利用環境の確保～』

“デジタルネイティブ世代のスマホ所持と向き合う”

第一小学校PTA 会長 木村 賢治

第一小学校PTAは、「デジタルネイティブ世代のスマホ所持と向き合う」をテーマに、急速に進むデジタル環境に対応し、子どもたちと共に健全なスマホ利用の在り方を模索することを目指し、研究・発表を行いました。いしかわ子ども総合条例改正により、子どものスマホ所持を禁止する規定がなくなり、逆にスマホを所持し賢く使うことが定められました。スマホ所持が当たり前になる中、保護者は新たな課題に直面しています。

一年目はスマホに関するアンケート調査を行い、子どものスマホ所持率が著しく増加していることを把握。これに応じて、スマホを持つ危険性について非行被害防止講座と共に保護者と考える機会を設けました。二年目は、学級懇談会で元総務省のデジタル支援員を講師に招き、スマホとの付き合い方を学びました。

研究発表では、スマホを再定義したスティーブ・ジョブズのプレゼンをリスペクトし、ジョブズの初代iPhoneの発表を再現からスタート。その後、起立・ハンズフリーで各研究成果をパートごとに発表し、得られた情報を研究大会の場で多くの保護者と共有することで、その成果が第一小学校に留まらず、小松市の全ての保護者がスマホへの理解や付き合い方を学ぶきっかけとなることを狙いました。

これからは第一小学校PTAは、保護者同士が助け合い、子どもたちが安心して成長できる環境を築くために努め、専門家と協力し、今回得た知見を元にスマホに関する家庭内コミュニケーションの質を向上させ、より健全なデジタルネイティブの成長を支えていきます。

小松市市民防災訓練

令和5年10月22日(日)小松市市民防災訓練が今年度は稚松校下で開催されました。

小松市立学校PTA連合会では、新規事業として今年度初参加させていただき事となり非常持ち出し袋のアドバイスや防災書籍の紹介、お子さん向けのクイズや

ノベルティグッズの配布などを行いました。

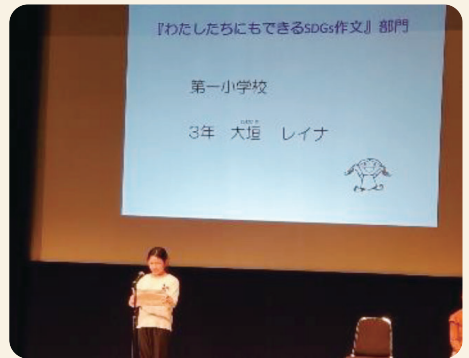
初年度ということで、まだまだ改善点はありますがPTA連合会としても、防災という観点から地域貢献に携われて大変良かったと思います。



表彰式の様子



SDGs入選 表彰式



すばらしい作文発表

研究大会の様子



第一小学校

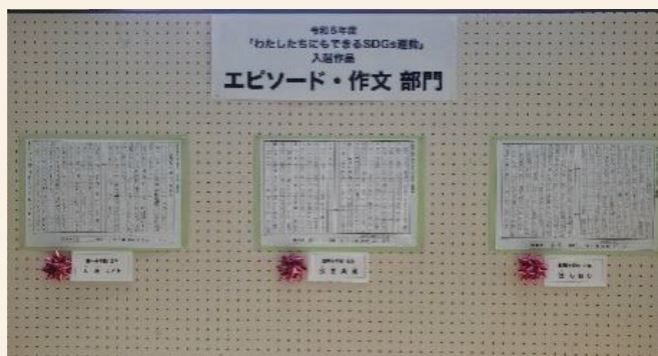


中海中学校



安宅小学校

入 選 作 品



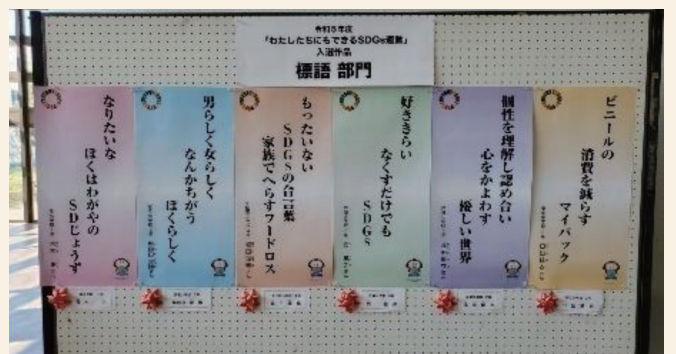
わたしたちにもできるSDGs作文



SDGsを考えるポスター・絵画



わたしのSDGsレシピ



わが家のSDGs標語



研修委員会の取り組み

今年度、研修委員会では前年度まで『小松市PTA研究発表大会』で行われていた講演会が、今年度から独立した事業として行われることとなり、輝く心の学び委員会と協力しながら準備をしました。

今年度の講演は法務少年支援センター長の佐藤様をお願いしたところ、小松市少年育成センターとの共催となり、そこから他市町の青少年支援センターにもお声掛けし、遠くは野々市市からもご参加いただくことができ、充実した講演会を開催することができました。また、今年度は『社会を明るくする運動』の助成金を活用させていただき、子どもたちとその保護者の防災意識の向上を目的として初めて『小松市総合防災訓練』でも小松市立学校PTA連合会でブースを出させていただきました。

初めての事業ということで反省点も多くありましたが、次年度以降も継続して行えるのであれば今年

研修委員会 委員長 石郷岡信二

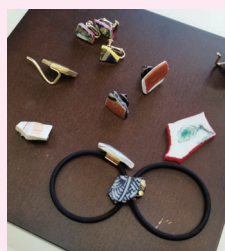
度の経験を活かして次年度はより大きな成果を得られるようにしたいと思います。あと、継続事業として『小松市教育委員会との懇談会』では、中田ディレクターと学校教育課の宮森課長と懇談の機会を頂き、研修委員会で各単Pの意見・輝く心の学び委員会からは母親ならではの視点からご意見を賜り、取りまとめたものを持って小松市の教育に対するこれからの方向性などお聞きすることができました。こちらにつきましても皆様と共有できるようご報告させていただきます。

今年度は『初』という事業が複数となりましたが、委員会の皆様のご協力、また輝く心の学び委員会をはじめ多くの方々にご協力頂きながらなんとか全ての事業を無事に終えることができました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

輝く心の学び委員会 日帰り研修会

開催日：令和5年12月7日(木)

場所：九谷焼美術館・防災センター・能美市ふるさと交流センターさらい



今年度の輝く心の学び委員会の日帰りバス研修会を開催いたしました。

まず、能美市の九谷焼美術館にて、九谷焼の陶片を使ったアクセサリ作りを体験しました。SDGsの観点から、廃材をアップサイクルしてイヤリングやピンバッジなどを作ることができ、皆さん思い思いの絵柄を選んで世界に一つだけのオリジナル作品作りを楽しみました。また、施設と九谷焼の作品の見学をして、伝統工芸の技術に触れることができました。

その後、能美市に新設されました防災センターにて、地震、煙体験、消化器体験、暴風体験、3D

シアターなど最新の防災体験を通して災害の意識を高める学習してきました。日頃からの備えと心構えの大切さを改めて認識する良い機会となりました。

最後は能美市ふるさと交流センターさらいにてランチと施設見学、ヨガ体験を通して参加者の皆さんと交流して参りました。

お隣能美市の良いところを再発見できた研修会となり、楽しく学びある時間でした。

参加者の皆さんありがとうございました。

輝く心の学び委員会 委員長 江畑いずみ

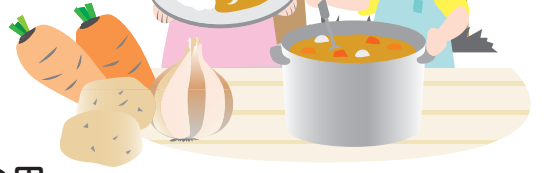


令和5年度 小松市立学校PTA連合会 豊かな心を育む委員会

親子ふれあい体験

SDGsって何だろう？どんなことがSDGs？美味しく楽しく学ぼう！

野外炊飯でカレー作り体験



開催日：令和5年8月27日(日) 場所：大杉みどりの里

豊かな心を育む委員会 委員長 谷中佐祐里

毎回好評をいただいています親子ふれあい体験を、今年は8月27日(日曜日)大杉みどりの里にて4年生から6年生の児童を対象に開催いたしました。

昨年度より小松市立学校PTA連合会ではSDGsを意識した活動に取り組んでおります。親子ふれあい体験では「野外炊飯でカレー作り」に取り組みながら美味しく楽しくSDGsを学びました。

具体的な取り組み内容ですが、ジェンダー平等を意識して男女の区別なく自分のチャレンジしたい作業に取り組む、薪を使用する事でカーボンニュートラルを意識する、食品ロスを減らすため食べ切れなかったカレーは持ち帰る、などです。

体験中は集中して食材を切っている様子や薪わりに挑戦している姿、うまく巻きに火が点かなくて試行錯誤したり煙たかったり、料理には慣れていない保護者の方々もいつもと勝手が違うので良い経験になったのではないかと思います。参加した児童の中には薪を使うことが初めての体験だという子も少なくなかったのですが、どの作業にも自主的に、そして楽しそうに取り組んでいたのが印象的でした。

完成したカレーは作るのが大変だった分、いつもよりも美味しく感じられたのではないのでしょうか。少し水分が多い鍋や、逆に少なく仕上がった鍋など同じ材料と作り方でも各グループにより特徴がありました、皆さんとても美味しそうに頬張っていました。ちなみにPTAメンバーで作ったカレーは、火加減無視で薪を燃やした結果芋が崩れ、水分少なめで食べ応えがあるカレーになりました…その後お腹が苦しいくらいに。親子で料理をする時間を作る事は、忙しい日常生活の中では案外難しい事です。この活動が参加された皆様にとって良い時間になった事を、活動中の笑顔が物語っていました。また今回は活動中の写真も沢山撮影したので、参加者の皆様が自由にダウンロードできるように後日メールで案内をさせていただきました。各ご家庭の夏休みの思い出に加えて頂ければ幸いです。

最後に、今年も大変充実した親子ふれあい体験会を開催させていただく事ができました。これもPTAに関わる皆様のご理解、ご支援あっての事と、心から感謝申し上げます。また来年度は皆さまから頂いたご意見、アンケートを活かし、より充実した体験会を開催できればと考えています。今後とも豊かな心を育む委員会に期待とご支援をよろしく願いいたします。

今年一年ありがとうございました。



編集後記

今年度は、コロナ禍が5類に移行され、多くの活動で再開することが出来ました。又市内小学校23校中12校もの学校が周年を迎え、喜ばしい年度になりました。

来年度は小松市立学校PTA連合会では、新たな事業を計画しております。そこで委員長として、全力で取り組んで行きたいと思っておりますので、皆様のご協力よろしく願いいたします。

広報委員長 櫻田 徹(粟津小)

広報委員会

櫻田 徹(粟津小)・嵐 達昭(稚松小)
 杉山 広明(犬丸小)・濱口 淳也(丸内中)
 金田奈津代(安老小)・前沢 貴広(犬丸小)
 太田 誠鉄(蓮代寺小)・石原 一雄(申小)
 齊藤 翔(符津小)・大田 琢哉(中海小)
 深澤 弘美(東陵小学校校長)